



Eブロック予選準優勝！都大会へ！！  
優勝めざしてGAMBA！！

### 第32回 東京都少女選手権大会 Eブロック予選

<予選リーグ (Dグループ) >

(11/10 相原スポーツ広場)

○南八王子 対 町田JFC 7-0 (前半5-0)

テーマ 判断を速く、ボールも人も動く、キーパーを抜いてシュート

得点者 片寄Yさん (3)、大塚さん、井上さん、片寄Mさん、漆間さん

珍しくナイターの試合です。ただ気温もかなり下がってきたため、ボールも人も動き回る暖かくなるサッカーを目指しました。相手は経験が浅いですが、しっかりドリブルサッカーをするチームと見ていました。でもそれ以上にしっかりとしたドリブルサッカーを見せてくれたのはみんな。ボールキープ、技のキレ、スピードのどれを取っても相手を圧倒していましたね。そこに時には、足元へのパスや、DF裏へのスルーパスで相手を終始、翻弄しまくりました。特に4年生の成長を感じました。伊藤姉妹、森林さんは攻撃面でよく走りボールに絡み、ドリブルで攻めあがっていました。また、平山さん、山宮さんはサイドバックとして、安定感のある守備を見せてくれました。

○南八王子 対 町田相原 5-0 (前半3-0)

テーマ 判断のスピードアップ、積極的にゴールを狙う

得点者 井上さん (3)、片寄Yさん (2)

苦戦は予想していましたが、特にフィニッシュが雑でなかなか得点できませんでした。ただこういう試合では、泥臭い得点が試合を左右します。例えば、前半10分にゴール前のごちゃごちゃの状態から井上さんがちゃっかり決めてくれました。さらにその3分後には、ゴール前になにがあったかわからない状態から、いつの間にか片寄Yさんが決めて追加点。

後半にもごちゃごちゃの状態から井上さんが決めてくれた得点がありました。こういう得点が多いというのは、チャンスの時にゴール前により多くのプレーヤーがいるということだと思います。これは、テーマに挙げている「判断のスピードアップ」ができてきているために、攻守の切り替えが速くできているのだらうと思います。素晴らしいことです。

グループ予選最大のライバルにも快勝して、決勝トーナメント進出を決めました。この調子で中央大会出場を決めてしまおう。



<決勝トーナメント><準々決勝> (11/23 南大沢小)

○南八王子 対 樺 1-0 (前半0-0)

テーマ ゴールを狙う、1対1で負けない (取られたら取り返す)

得点者 片寄Yさん

成長著しい樺さんに苦戦しました。ボールは支配しますが、エース片寄Yさんがしっかりとマークをされて決定的な場面を作らせてもらえませんでした。後半3分に大塚さんのCKから、片寄Yさんが相手の一瞬のスキを突いたシュートが唯一の得点となりましたが、それ以上に相手に得点を与えなかった守備陣の踏ん張りが大きかったと思います。小沢さん、矢久保さんのセンターバックは本当に安定してきました。相手コーナーキックで何度もピンチを招きますが、ギリギリのところではじき返してくれたのが、この二人でした。さらにサイドバックでは、平山さん。1対1に強くなり守備が安定し、チャンスがあれば攻撃参加、そして精度の高いコーナーキックなど大きな成長を感じました。



(11/24 旧南豊ヶ丘小) <準決勝>

○南八王子 対 多摩 3-0 (前半1-0)

テーマ 自分たちで考える (判断する)

得点者 大塚さん、漆間さん、井上さん

細かいことは言わずに自分たち考えながらプレーすることを指示して、試合に送り出しましたが、ベンチの声がなくても、期待通りのサッカーができることを示してくれました。例えば、キーパー飯島さんのポジショニング。攻め込んでいる時には、センターバックの後方のスペースを埋めるように自然に高い位置にいて、何度かDF裏を抜けて来るボールを落ち着いて処理していました。センターバックの矢久保さんは、クリア、くさびのパス、そして自らがドリブルと状況に応じてきっちり最適なプレーを選択できていました。センターフォワードの漆間さんは前線からの守備をしっかりとやってくれました。これらのプレーは、周りを見て考えて一瞬のうちに判断するということができないと成立しません。みんな確実に成長していますね。

<決勝>

●南八王子 対 南大沢 0-5 (前半0-2)

テーマ 自分たちで考える (判断する)

結果は完敗ですが、東京都チャンピオンに臆することなく、攻める姿勢を失わず、よくやったと思います。守ろうと思えば、こんなに失点はなかったと思いますが、ガチでやればこれが現実と力の差。それぞれのポジションで課題を明らかにして、次のためのステップアップをしてほしいと思います。基本はやっぱり先を讀む。相手のやりたいことをさせないディフェンス、相手が思いつく前に攻め込む攻撃。これができれば勝てるわけです。ボールだけでなく、ピッチに転がっている5つをどれだけ見られるかがポイントです。

中央大会は12/15,16 6年生にとっては最後の大きい大会です。思い出になるような素晴らしい大会にしてほしいと思います。  
by 飛田コーチ